

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 28 年 5 月 26 日 (2016.5.26)

【公開番号】特開 2015-24524 (P2015-24524A)

【公開日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)

【年通号数】公開・登録公報 2015-008

【出願番号】特願 2013-154268 (P2013-154268)

【国際特許分類】

B 4 1 J 15/04 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 15/04

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 29 日 (2016.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送り経路面に沿って送られるシート状部材をシート押圧部により前記送り経路面に押圧する押圧位置と、前記シート押圧部が前記シート状部材から離間した離間位置と、前記押圧位置と前記離間位置との間の中立点と、の間で移動可能な押えレバーと、

前記中間位置を境にして、前記押えレバーを前記押圧位置と前記離間位置とにそれぞれ付勢する弾性部材と、

送り方向に直交する装置幅方向にスライド可能なベース部と、

前記送り経路面に沿って送られる前記シート状部材の側端をガイドするガイド面が形成され、前記シート状部材に対して前進位置と後退位置との間で進退可能に前記ベース部に保持された進退部材と、

前記押えレバーの前記離間位置への移動に連動して、前記進退部材を前記前進位置に前進させ且つ前記前進位置に保持し、前記押えレバーの前記押圧位置への移動に連動して、前記進退部材を前記後退位置に後退させる連動機構と、
を有することを特徴とするシート押え装置。

【請求項 2】

前記押えレバーは、

前記押圧位置と前記中立点にある時は、前記押圧位置の方向へ移動し、

前記中立点と前記離間位置にある時は、前記離間位置の方向へ移動する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシート押え装置。

【請求項 3】

前記連動機構は、

前記押えレバーに形成され、前記押えレバーの前記離間位置への回動により前記進退部材と係合し、前記押えレバーの前記押圧位置への回動により前記進退部材から離れるレバー係合部と、

前記押えレバーに形成され、前記押えレバーの前記押圧位置への回動により前記進退部材を前記後退位置に押圧すると共に、前記押えレバーの前記離間位置への回動により前記進退部材から離間する進退部材押圧部と、

前記弾性部材と、で構成されており、

前記弾性部材は、前記押えレバーを介して、前記進退部材を前記前進位置に付勢するこ

とを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシート押え装置。

【請求項 4】

前記進退部材押圧部は、前記進退部材の前記ガイド面を押圧することを特徴とする請求項 3 に記載のシート押え装置。

【請求項 5】

前記押えレバーは、

前記シート押圧部を、送り方向に分散した複数箇所に有しており、

複数の前記シート押圧部を、それぞれ前記シート状部材に向けて付勢する複数の付勢部材を、さらに有することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のシート押え装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれかに記載のシート押え装置と、

前記シート状部材を前記送り経路面に沿って送る搬送部と、

前記シート状部材に対して印刷を行う印刷部と、

を備えたことを特徴とする印刷装置。